

2024.2.1



山武市
SAMMU



議会だより

No. 71



今年も多くの人が訪れました(1月1日・本須賀海岸)

今月の
表紙

初日の出 2024

- 決算審査特別委員会審査報告 p2
- 審議結果一覧(第4回定例会) p3
- 常任委員会審査報告 p4
- 一般質問(第4回定例会) p5~14
- 山武市議会活動レポート p15
- 市議会の活動を知るには? p16



山武市マスコットキャラクター
SUNムシくん

決算審査特別委員会 審査報告

■ 審議結果

〔原案認定〕

議案第11号・議案第12号
議案第13号・議案第14号
議案第15号・議案第16号
議案第17号

■ 委員

委員長 渡邊 聰
副委員長 市川 陽子
委員 並木 幹男
委員 鈴木 健太郎
委員 渡邊 健一
委員 池田 久和
委員 小山 和典

令和4年度決算の概要

区分		決算額	差引額
一般会計		歳入 255億5702万円 歳出 242億2979万円	13億2723万円
特別会計	国民健康保険	事業勘定 歳入 66億7794万円 歳出 66億4628万円	3166万円
		直営診療施設勘定 歳入 8015万円 歳出 7047万円	968万円
	後期高齢者医療	歳入 6億5997万円 歳出 6億5150万円	847万円
	介護保険	歳入 50億1702万円 歳出 49億7035万円	4667万円
	地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理	歳入 20億2675万円 歳出 20億2675万円	0円
	農業集落排水事業	歳入 2億9751万円 歳出 2億9397万円	354万円
	公営企業会計	水道事業	収益的収入 3億5676万円
収益的支出 3億3155万円			
資本的収入 776万円			
資本的支出 2億 952万円			

※決算の要旨は、広報さんむ2月号(14～15ページ)をご覧ください。

令和5年第3回定例会において、委員会が設置され、閉会中の継続審査とされていた「令和4年度各会計歳入歳出決算」を審査するため、10月3日・4日の2日間にわたり、決算審査特別委員会を開催しました。

委員会では、適正に予算が執行されているかなどを確認しながら、慎重審議した結果、付託された議案7件すべてについて原案のとおり認定すべきものと決しました。

■ 質疑要約

● 生活保護者扶助事業

問 生活保護の相談および申請が過去最多の件数とのことだが、その相談体制は十分に足りているのか。

答 本市の生活保護受給世帯380世帯に対し、ケースワーカー5人で対応しており、社会福祉法で定める職員定数(80世帯につき1人配置)は満たしていますが、コロナ禍以降、年々増加する相談件数を加味すると、非常に厳しい状況です。

なお、生活保護の申請に至る前の生活困窮者相談窓口を社会福祉協議会に委託し、連携を取りながら対応しています。

● 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業

問 農業資材等物価高騰対策支援事業および飼料価格高騰対策支援事業で支給した各支援金の実績は。

答 近年の物価高騰により、生産コストが増加している市内農業者および畜産業者を対象に支援金を支給した事業となり、その実績は、前者の支援事業では897件の農業者へ総額5033万円、後者の支援事業では28件の畜産業者へ総額2346万円の支援金をそれぞれ支給しました。

● 小中学校の備品整備

問 学校ごとに事業分けがされており、それぞれ備品購入費の項目が計上されているが、他校における余剰の有無の確認など、予算の削減に向けた適切な運用は図られているのか。

答 文部科学省から示されている教材整備方針に基づき、計画的に購入しています。また、新規購入の際には、教育委員会が各校の整備状況を精査・調整することで、経費の削減に努めています。

● 予備費の充用

問 予備費の充用先および予備費対応となった理由は。

答 一例として、県で実施する『第3子以降の学校給食費無償化』に対応すべく、早急にシステム改修を行う必要があったため、成東学校給食センター施設管理運営事業へ204万円充当しました。

また、市内防犯灯の電気料金について、当初の想定よりも電気代が高騰し、予算に不足が生じたため、防犯灯維持管理事業へ164万円充当しました。





常任委員会

市議会には、総務・文教厚生・経済建設の3つの常任委員会が設置されており、本会議で審査を付託された議案等について、それぞれ専門的に審査を行い、採決した結果を本会議に報告します。

委員会	審議結果	質疑要約
総務常任委員会 (12月4日開催)	【原案可決】 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第10号の一部 議案第11号の一部	本庁舎浄化槽改修工事請負契約の締結について（議案第7号） 問 ▶▶▶ 当該落札業者の経審の評価点は。 答 ▶▶▶ 競争入札に参加するための客観的審査結果とされる経営事項審査、いわゆる「経審」の評価点は、建築一式で1022点です。本工事にかかる入札参加資格は900点以上と設定しており、要件を十分に満たす事業者であると認識しています。 基金管理事業について（議案第10号） 問 ▶▶▶ この補正予算の内容および積算根拠は。 答 ▶▶▶ ふるさと納税で5000万円の増収を見込んだことに伴い、返礼品代やポータルサイト委託料等の経費および災害支援寄附額を差し引いた2400万円を、ふるさとさんむ応援基金に積み立てるため、補正要求するものです。
文教厚生常任委員会 (12月5日開催)	【原案可決】 議案第8号 議案第10号の一部 議案第11号の一部 議案第12号	母子家庭等自立支援給付金事業について（議案第10号） 問 ▶▶▶ 予算を増額補正とする高等職業訓練促進給付金の支給状況は。 答 ▶▶▶ 当該給付金は、ひとり親家庭の母または父が、就労に結びつく専門性の高い資格取得を目指して修業する期間の生活費を支援する制度であり、現在、医師や美容師等を目指す3名に支給しています。 小学校空調設備改修事業について（議案第10号） 問 ▶▶▶ 約1億円の増額補正が計上されているが、当初予算での要求ではなく、補正対応となった理由は。 答 ▶▶▶ 蓮沼小学校の空調設備全面改修のための工事費用です。市内教育施設は、順次、改修を行っていますが、想定より早く故障してしまい、今夏はスポットエアコンにより対応しました。来夏を迎える前に、快適な教育環境を整備する必要があると考え、補正要求するものです。今後とも、設備の耐用年数や修繕の状況等を加味したうえで、計画的な予算措置に努めます。
経済建設常任委員会 (12月6日開催)	【原案可決】 議案第1号 議案第9号 議案第10号の一部 議案第13号 議案第14号 【採択】 陳情第2号	松尾駅周辺排水対策工事請負契約の一部変更について（議案第9号） 問 ▶▶▶ これまでの工事費用の総額は。また、令和5年台風13号の大雨により冠水被害が発生したが、当該工事完了後の排水容量は。 答 ▶▶▶ 事業開始から6年目となり、当該工事にかかる工事費用総額は約15億円です。 なお、排水上限は、時間雨量45ミリとして工事設計しており、先般の大雨では時間雨量59ミリという想定以上の雨が短時間に降ったこと、また、最後の工程である排水路流末の工事が完了していないことから、冠水したものと推測します。 成東駅北側道路整備事業について（議案第10号） 問 ▶▶▶ 千葉県警と行う道路計画事前協議の遅延により、執行見込みが立たない業務の予算を減額補正するとのことだが、その遅れている理由は。 答 ▶▶▶ 信号の設置の必要性や交通規制が伴う路面標示など、さまざまな視点で慎重な検討が行われており、当初の想定より時間を要していることが要因であると考えます。 引き続き、警察から提示される検討事項に対応できるよう計画をまとめていきます。

市政を問う!

12月定例会 一般質問

一般質問とは、議員が、市の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を市長などに求め、市が適切な市政運営を進めているか、チェックするものです。

山武市議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができ、質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域の住民生活に密接している事項など、多岐にわたります。

なお、議会だよりの一般質問に関するページは、質問した議員が自ら原稿を作成し、掲載しています。

※今回の12月定例会の会議録は、図書館またはインターネットでご覧いただけます。(3月下旬発行予定)

議会中継へ簡単アクセス

より気軽に視聴することができますよう、一般質問の掲載ページに、録画映像が視聴できるQRコードを添付しています。



スマートフォンやタブレットでご覧ください。

p6 個人質問 わたなべ けんいち
さんむ21 渡邊 健一
①小松地先市有地について
②通学路について
③社会体育施設について
④さんむ医療センター新病院について

p6 個人質問 は せ べりゅうさく
公明党 長谷部 竜作
①来年度予算について
②千葉県道62号成田松尾線について

p7 個人質問 ふかざわ まこと
公明党 深沢 誠
①小松地先残土問題について
②農業施策について
③都市整備について
④重点支援地方交付金の追加について

p8 個人質問 いちかわ ようこ
公明党 市川 陽子
①行政施策について
②福祉施策について

p9 個人質問 さくらだ もとすけ
新政会 櫻田 基介
①窓口サービスについて
②市営住宅について

p9 個人質問 わたなべ さとし
新政会 渡邊 聡
①犯罪被害者支援について
②作田川流域河川について
③教育行政について

p10 個人質問 すぎやま きよし
新政会 杉山 清
①市道について
②まちづくり協議会について
③認知症施策について
④災害時の成東中学校近辺の交通状況について
⑤スポーツ施設の修繕および再開発について

p11 個人質問 すず きけん たろう
新政会 鈴木健太郎
①市の事務処理について
②孤独死、空き家対策について
③前年度決算の資産・負債の内容開示について

p12 個人質問 いけだ ひさかず
新しい風Sammu 池田 久和
①小松地先市有地の残土問題について
②多文化共生について

p12 個人質問 こやま かずのり
新しい風Sammu 小山 和典
①小松地先市有地について
②来年度予算について
③ふるさと納税について
④さんむ医療センターについて

p13 個人質問 たまおき みつえ
新しい風Sammu 玉置美津恵
①消防防災について
②学校給食について
③高齢者のごみ出しについて
④公共施設について

p14 個人質問 なみ き みきお
日本共産党 並木 幹男
①令和6年度予算について
②医療・福祉施策について
③子育て支援策について
④山武市森林づくりマスタープランについて

※上記には、「一般質問通告書」の内容を記載しています。



議員 渡邊 健一 さん 21

通学路について

問 児童生徒の通学路の安全管理について伺います。

答 教育部長 毎年、教育委員会や警察署、道路管理者、地域の関係者等による合同点検を6月に実施し、対策を検討した後、7月から10月にかけて各関係機関がそれぞれ対応して改善を図り、11月に進捗状況の確認を行います。完了していない箇所については、引き続き年度末までに完了を目指します。また、合同点検に限らず、保護者や地域から情報提供のあった危険箇所は、随時、関係部署が現地に赴き、周辺を歩いて確認して対策を講じています。

問 一定区間の公共の場を継続的に市民が清掃美化活動を行う場合、行政が支援する制度がありますが、そのほか気がついた時にできる清掃美化活動の仕組みがあるか伺います。

答 建設環境部長 地区等で行う

個人質問

清掃美化活動については、市から資機材の支給などを行うことで、活動を支援しています。

一方で、活動を行う場合にはご留意いただきたい事項もありますので、実施する際には事前の相談をお願いしています。

社会体育施設について

問 成東総合運動公園の野球場において、大規模な改修が必要と考えられる箇所とその予算規模を伺います。

答 教育部長 野球場は完成から21年が経過しており、電光掲示板は簡易的・部分的な修繕では復旧困難な状況です。そのほか、大規模改修が必要な箇所として、バックネットフェンスや照明設備のLED化等があり、費用についての全体的な規模は把握できていませんが、電光掲示板の改修だけでも8000万円前後が想定されます。

修繕費用の財源確保として

問 ネーミングライツ制度の導入が考えられますが導入に向けた市の見解を伺います。

答 教育部長 大規模改修が必要な現在の野球場の状況では、ネーミングライツ制度を導入しても成立が困難であると想定されるため、現時点では検討していません。施設の修繕完了後に導入を検討していきたいと考えます。

さんむ医療センター新病院

問 感染症予防や待ち時間の短縮

等のため、オンライン予約は可能となるのか伺います。

答 保健福祉部長 新病院では、受診予約のオンライン対応は予定されていませんが、院内感染予防、待ち時間の短縮、待合室や駐車場の混雑回避等のメリットがありますので、今後の検討課題とすることです。

診察や会計時における受診者の不安やイライラを解消するため

問 順番の見える化の取組およびスマートフォンを用いたキャッシュレス決済サービスの導入予定を伺います。

答 保健福祉部長 新病院では、会計や診察を待つ際に、順番が分かる表示システムを導入する予定です。なお、人混みを避け、別の場所で待ちたい方向けには、診察順番をお知らせするシステムの導入を検討しているとのことです。

現行のクレジットカード決済はそのままに、その他のキャッシュレス決済は予定していないとのことです。

先進医療機器である手術支援

問 ロボットの導入は考えているか伺います。

答 保健福祉部長 新病院での運用は予定していませんが、将来の導入を想定し、必要となる配管や床の耐荷重対応をしているとのことです。

その他の質問

小松地先市有地の土砂飛散防止対策



議員 長谷部 卓 さん

来年度予算について

問 令和6年度当初予算の編成方針を伺います。

答 市長 来年度の財政状況について、まず歳入面では、コロナ禍からの経済社会活動の正常化により市税収入は回復傾向にあるものの、少子高齢化の進行により、大幅な増加は見込めません。一方、歳出面においては、物価高騰や労務単価の上昇により、公共施設の維持管理費や社会保障費等の経費は引き続き増加が見込まれ、本市の財政運営は厳しい状況にあります。

これらの状況を踏まえ、令和6年度当初予算編成は、第3次総合計画の目標達成に向け、重点分野および公共施設等総合管理計画を基点とした資源配分の選択と集中により、今までの視点を持って、財政健全化と政策推進のバランスを取る「総合計画成果志向型予算編成」を引き続き実施することとしています。

さらには、最小限の予算で最大限の効果が発揮できるよう要求することを基本とし、財政調整基金の繰入れ目標を15億円と設定して、将来世代に負担の先送りとならないよう、持続可能な財政運営のため、経費の削減を指示しています。

問 削減困難な予算もある中、どのような予算を削減していくのか伺います。

答 市長 将来世代に負担の先送りとならない持続可能な財政運営のためには、必要な投資的事業を必要な時期に実施するという財政健全化と政策推進のバランスが非常に重要であると考えています。

長期財政推計では、今後も毎年度、財政調整基金の取り崩しを見込んだ大変厳しい財政状況にあり、将来世代に必要となる投資的事業の財源を確保し、財政の硬直化を防止するためには、直ちに予算の削減に取り組まなければならないと考えます。

そのため、特定の事業に限定せず、すべての事務事業について、優先度や緊急性、そして費用対効果の検証を行い、最小限の予算で最大限の効果が発揮できるように精査しています。

また、今年度から組織横断的なプロジェクトチームによる、事務事業の見直しに着手しており、本格的な運用に向けて準備を進めています。

問 令和4年3月に長期財政推計

をとりまとめしていますが、目標値とされる財政調整基金28億円程度の確保について、現在の財政状況から令和12年度末に見込まれる予定額を伺います。

答 財政課長 財政調整基金は、標準財政規模の2割程度を確保すべきといわれています。令和4年度の本市の標準財政規模は約142億円であり、28億円程度が目安となりますが、現在の長期財政推計では、令和12年度末で約21億円まで減少すると見込んでいます。適切な資源配分の選択と集中により行財政改革を進め、将来においても必要な基金を確保できるよう取り組んでいきます。

千葉県道62号成田松尾線

問 千葉県道62号成田松尾線(芝山はにわ道)は、蓮沼・松尾地域と成田空港を結ぶ県道であり、交通量も多く、また、本市を活性化すべく成田空港の機能強化を取り込むためには、極めて重要な路線となります。

そこで、千葉県に対し、4車線化の要望活動を行うてはどうかと考えますが、市の見解を伺います。

答 建設環境部長 今後、成田空港の機能強化や圏央道の全線開通が見込まれることから、さらに重要なアクセス道路となりますので、周辺自治体とも連携しながら4車線化に向けて情報収集を図っていきます。



小松地先残土問題について

問 当該問題における市の立ち位置は「事業主」であるとの見解が執行部から示されましたが、この問題の責任の所在について、市の見解を伺います。

答 市長 現在、第三者委員会へ調査を依頼しており、今後、本事業の全容が明らかになった時点で判断をさせていただきますが、このような事態を招いている以上、当然、市にも問題があったと考えます。

問 この問題については、発生から1年以上も何ら解決に向けた進捗が見られません。第三者委員会の調査結果が間もなく出ると承知していますが、結果のいかんにかかわらず、当該業者への刑事告訴に踏み切るべきであると考えますが、見解を伺います。

答 建設環境部長 事態の進展について不確かなままであることは、市民の信頼に影響を及ぼすものと承知し

ています。刑事告訴については、法的な根拠に基づき、責任の所在等を見極めることが重要と捉えているため、現在第三者委員会を設置して、土砂搬入に関する原因究明を進めています。

市としては、第三者委員会の報告を踏まえ、刑事告訴や契約違反に基づく損害賠償の妥当性について判断したいと考えています。

農業施策について

問 農林水産省の事業を活用し、有機農産物の生産から加工・流通、消費までを地域ぐるみで一貫して行う「オーガニックビレッジ宣言」が、各自治体に広がっています。

農業の付加価値向上に向けて「オーガニックビレッジ」拡大は極めて重要と考えますが、市の見解を伺います。

答 産業振興部長 有機農業が新たな農業の方向性として定着したうえで、検討したいと考えています。

まずは、先進地事例の調査・研究や新たに市の農業構想を策定する中で、慣行農業と有機農業が共に地域ぐるみの取組となるよう推進していきたいと考えます。

オーガニックビレッジとは？

有機農業の生産から消費までを一貫し、住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村のことをいう。

国では、令和12年までに200市町村の創出を目標としている。

都市整備について

問 空き家バンクの現状を伺います。

答 都市整備課長 空き家バンク

は平成31年4月から運用開始し、今年度で5年目となり、これまでの登録実績は、令和5年10月末現在で11件です。

なお、登録となった11件の空き家は、市場での取引が行われ、6件が成約済みとなっております。

問 高知県梶原町では、空き家を所有者から無償で借上げ、国からの支援

事業補助金を活用しながら、水回りを基本とした住居の整備を行い、移住定住者に貸し付けるといった事業を行っています。

本市でも子育て支援住宅としての活用が考えられますが、見解を伺います。

答 市長 本市の空き家等対策に

ついては、山武市空家等対策計画に定める①空き家の発生抑制・予防、②管理不全の解消、③活用・市場流通の促進の3つの方針に基づき施策を推進しており、目標の一つとして「空家等の利活用の促進」を掲げています。

利用者ニーズに合った空き家の利活用について、他の自治体の先進事例等を調査しながら、研究を進めていきます。

【その他の質問】有機農業の今後の展

望▼空き家対策の今後▼重点支援地方交付金の追加について



議員 川陽子 市川 公明党

緊急時におけるAEDの対策

問 AEDを使った救命処置は、AEDを使わなかった時と比べ、社会復帰

率は4倍に増加するとありますが、本市の公共施設におけるAED屋外設置について、その課題を伺います。

答 総務部長 屋外設置は、施設

の閉館時でも使用可能となり、人命救助における有効な手段と認識しています。

しかし、屋外での保管・使用環境に対応した専用の収納設備が必要となることから、その費用面での課題および盗難やいたずらなどが懸念される場所です。

問 設置について、24時間営業の施設(コンビニエンスストア等)と協定を結

ぶなどの方法が考えられますが、見解を伺います。

答 総務部長 実際に、自治体と

協定を結んでいる事例があることを確認しています。

協定の内容や設置・管理に要する経費などを調査し、判断していきたいと考えています。

問 AEDは、電極付パットを傷病

者の素肌2か所に貼り付けて電気ショックを与えるため、着衣を脱がす必要があることから、傷病者が女性の場合、AEDの使用をためらう場面があります。

そこで、プライバシーを保護するため、

応急手当の際、体を覆う目的に使用でき、止血や患部の固定などにも役立つ「色つき三角巾」を導入し、AEDの設置場所に配置することを提案しますが、市の見解を伺います。

答 市長 AEDの使用が必要な

場面で、ためらうことなく、迅速に対処するための一助になれば、救命率向上にもつながると考えますので、設置を検討したいと思います。

移動スーパー販売事業

問 現在の利用状況を伺います。

答 保健福祉部長 移動スーパー

「とくし丸」は、国道126号線より海岸側の地域で3コースを週2回ずつ巡回し、週6日間営業しています。

セイミヤ松尾店および販売員の方々の努力により、販売は順調に推移し、利用希望者が順番待ちしている状況です。

また、「移動スーパーカスミ」は、市内全域で1日あたり10か所ずつ、週5日間、合計50か所の販売場所を巡回していま

すが、そのうち約3割の販売場所で利用者が少ない状況が続いています。

問 新たな販売車の導入や採算が

合わないことによる継続性の課題があるとのことですが、今後の取組の方向性を伺います。

答 保健福祉部長 買物支援や高

齢者等の見守りネットワークとして、効果がある仕組みです。今後、市としてもホームページなどを通じて周知を行い、事業所と連携しながら取り組んでいきます。

子宮頸がんワクチン接種 (HPVワクチン)

問 女性に限らず男性にもワクチン

接種することで、HPV関連の病気が本人を守るとともに、パートナーへの感染防止も期待されています。

そこで、男性へのHPVワクチン接種について、市の見解を伺います。

答 保健福祉部長 男性の肛門が

んなどのヒトパピローマウイルス(HPV)関連疾患の予防に効果があると認識しています。現在も、9歳以上男子へのワクチン接種は、任意接種で可能とされており、国において、今後定期接種として導入するか検討が予定されていますので、動向を注視していきます。





窓口手続きの効率化

問 本市の窓口手続きの内容や混雑状況を伺います。

答 市長 最近の傾向として外国籍の方が増えていることや、令和2年1月からの旅券窓口開設に伴い、パスポート手続の方が多く来庁するなど窓口業務が増大しています。

問 パスポートの手続きにおける市内外の割合と、近隣市町の旅券窓口の設置状況について伺います。

答 市民部長 令和5年10月末までの申請者の住所別の割合は、山武市民が46%、市外住民が54%です。

山武郡内では、本市と横芝光町が実施しており、近隣では、八街市、富里市、匝瑳市、茂原市などが当該業務を取り扱っています。

問 窓口の混雑緩和対策を伺います。

答 市民部長 令和2年から番号札システムを導入し、来庁者はあらかじめ

じめ用件を選択のうえ、発行された番号札の順番で受付できるようにしました。

また、職員側から見える電光掲示板には、手続きごとに分かれた窓口の待ち人数と待ち時間が表示され、これにより混雑している窓口のフォローに当たることができ、待ち時間の短縮につながっています。

問 窓口でのさらなる効率化や市民サービス向上のための取組を伺います。

答 市民部長 庁舎内への証明書自動交付機の導入を検討しており、手続きの簡易化と窓口の混雑緩和を図っていきたく考えています。

なお、導入費用の財源として、国からの交付金を充てる予定であり、併せて、特別交付税の措置も見込んでいます。

問 自動交付機を導入するねらいや今後の展望について伺います。

答 市民部長 導入するねらいとして、窓口の効率化のほか、高齢者等の情報格差の解消があり、庁舎内に自動交付機があれば、直接操作方法を案内することができそうです。そして、以後はすでに設置されているコンビニの証明交付サービスなどを、ご自身で操作できるようなことが期待されます。

市営住宅について

問 一部の市営住宅は、老朽化が著しいですが、現状を伺います。

答 都市整備課長 市営住宅は4団地あり、建設は昭和40年代の住宅が115戸と最も多く、現在管理している住宅153戸のうち、約75%がこの時期に建設されたものとなります。

問 現在の維持管理の状況を伺います。

答 都市整備課長 建具や設備の不具合等は、入居者等からの情報により、市から委託業者へ修繕業務を発注し、対応している状況であり、居住性や安全性が保てるよう維持管理に努めています。

問 築50年が経過した建物は、近く建替えが必要と考えますが、今後の管理運営の計画を伺います。

答 都市整備課長 長寿命化に資する外壁・屋根防水等の改修や給湯設備の更新など居住性向上工事の計画的な実施、または、建て替えを視野に入れた具体的な検討を行う時期にきていると認識しています。

問 近年増加している空き家の活用方法の一つとして、空き家を市が借り上げ仲介し、入居の資格基準を満たす住宅困窮者へ貸し出すような政策を提案しますが、市の見解を伺います。

答 都市整備課長 これまで以上の民間事業者との連携メニューの検討や、空き家改修に関する補助メニューの検討など、他の先進事例等も調査しながら研究したいと考えます。



犯罪被害者支援について

問 山武警察署管内犯罪被害者支援連絡協議会が山武警察署で開催され、山武警察署管内の3市町(芝山町、横芝光町、山武市)が警察と話し合う中で、条例制定に向けた準備が進んでいるとのことですが、本市において犯罪被害者等支援条例を制定する目的、立法事実、市の考え方について伺います。

答 市長 本市では「山武市安全で安心なまちづくり推進条例」に基づき、安心で安全なまちづくりを推進し、犯罪抑止に努めています。

しかし、連日、報道等で目にするように、ある日突然に誰もが犯罪被害者になる可能性があります。犯罪被害者等支援については、期せずして被害に遭うかもしれないすべての市民のための施策です。本条例を制定することで、関係機関との連携が深まり、市民の防犯意識の向上と安心安全なまちづくり

につながるものと考えます。

作田川流域の河川について

問 二級河川のうち、特に源川にあつては、作田川との合流地点での水面の高さが、八街方面から流れてくる水面より低いために、源川の水は、作田川に流れ込むことができず、上流に逆流する、バックウォーター現象が起きています。合流部周辺では、住宅や店舗、工場等が床上・床下浸水の大きな被害を受けており、水に浸かった住宅等の所有者は、引越して空き家だけが残りといった状況もあります。

令和5年9月に接
近した台風13号に
伴う大雨においても
河川が氾濫し、作田
川や源川周辺は、床
上・床下浸水が発生
しました。源川と作
田川合流部にある調
節池を、今後拡大す
る予定はあるか伺い
ます。



答 建設環境部長 源川調節池は令和3年度に調節池内の浚渫・伐採等機能強化の取組が実施されましたが、令和5年9月に発生した台風13号による降雨の際、再び同じ地域で家屋の床上・床下浸水が約70件発生しました。このため、管理者である千葉県に対し、

適切な貯留容量を確保するための施設の拡大・拡張による機能強化を要望しています。

問 作田川改修事業の進捗状況ならびに、市で管理を行っている二級河川から外れた作田川上流部の水害対策について伺います。

答 建設環境部長 作田川改修事業の進捗状況については、現在、成東堰周辺の支障となる工作物の移設工事を行っており、令和6年度以降は、成東堰橋への取付道路工事を予定していると、千葉県より聞いています。

県で実施する水害対策として、作田川の堆積した土砂を撤去する河道掘削を中金ヶ谷橋付近において継続的に実施しており、日向橋の上流部においては、引き続き定期的な浚渫・伐採等を実施していると聞いています。

また、令和5年8月には、山武市、東金市、九十九里町、八街市で構成する作田川改修期成同盟会が、作田川の未改修部分の早期整備について国および千葉県に対し、要望を行いました。

市で管理する河川部については、本格的な整備は行っていませんが、水害を未然に防ぐ対応として、木柵や土のうでの法面保護や堆積土砂の浚渫など、機能管理を行っています。

【その他の質問】 ▼不登校児童生徒の対策について



市道・県道について

問 板中新田地先から横田地先間の市道拡幅の計画について伺います。

答 建設環境部長 市道陸岡14号線では、北総中央用水事業に伴って拡幅し、道路排水整備や流末排水路の整備を継続的に行っている状況です。これまで、旧板中コミュニティ消防センター付近から側溝を敷設してきており、今年度も引き続き、工事を予定しています。

問 実門地先の県道が雨のたびに水浸しになり、児童生徒の通学に支障をきたしていますが、対策の予定を伺います。

答 建設環境部長 県道八日市場八街線実門地先の冠水箇所の整備について印旛土木事務所へ確認したところ、工事実施に向け設計を進めていると聞いています。市としては、千葉県に対し、早期整備を継続的に要望していきます。

問 実門地先から横田地先間の市道拡幅の予定はあるか伺います。

答 建設環境部長 市道陸岡30号線は、近年、通勤時の抜け道としても交通量が増加傾向にあります。用地確保の必要もあることから、隣接地権者の協力を得ながら進めていきます。

地域まちづくり協議会

問 まちづくりの重要な団体である「地域まちづくり協議会」の概要を伺います。

答 市長 第3次山武市総合計画における施策の項目の一つとして「市民と行政が協働してつくるまちづくり」を挙げています。多様化・複雑化する社会情勢に対応したまちづくりを推進する中で、地域まちづくり協議会は、地域住民と行政の橋渡し役として、大変重要な役割を担っていただいている団体と認識しています。

問 旧小学校区を含めた市内11小学校区のうち、まちづくり協議会が3団体あるとのことですが、設立等の推進について、現状と今後の取組を伺います。

答 総務部長 市のホームページにおいて、設立に向けたガイドラインや補助金交付制度などを周知しています。今後は、学校運営協議会などへの情報共有や他の団体との交流を兼ねたセミナー開催など、新たな取組を考えていきます。

認知症施策

問 認知症に関する現状と今後の取組を伺います。

答 保健福祉部長 地域包括支援センターが「認知症サポーター養成講座」を実施しており、さらに認知症サポーターには、実際の活動につながるための「ステップアップ講座」を実施しています。また、講座を受講した市民の方と「さんむオレンジチーム」を結び、認知症カフェの運営やアルツハイマー月間での周知活動を行っています。認知症予防に対する明確な科学的根拠がない中、運動不足の解消、改善、糖尿病や高血圧症の生活習慣病の予防、社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持等が、認知症予防に効果的であると考えられています。

このことから、従来実施している出張健康教室や介護予防事業を継続的に実施し、認知症予防の視点も加えた啓発活動を今後も行っていきたいと考えます。

【その他の質問】 災害時における成東中学校近辺の安全確保のための措置
成東総合運動公園施設の改修および整備の予定
さんぶの森ふれあい公園テニスコートの照明設備および人工芝の修繕



新議会 鈴木健太郎 議員

市の事務処理について

問 各種補助金・給付金などの交付の際、山口県阿武町で発生した住民税非課税世帯宛ての特別給付金の誤振込事案や、大阪府摂津市の住民税還付金誤送金事案と同様の事象が発生するリスクはないか、事務フローの策定、体制は盤石であるか伺います。

答 総務部長 原則として、申請時に支給口座の届出および受取口座を確認できる書類の写しを提出してもらい、支払時は、担当者が支払伝票を起草した後、財務規則で定める役職者の決裁および合議を経て、最後に会計課による確認を行うなど、何重ものチェックを実施しています。

問 本市のマイナンバーカードの申請および交付の進捗状況を伺います。
答 市民部長 令和5年10月末日時点の申請件数および申請率は3万8156件(77.71%)で、交付件数および

孤独死について

交付率は3万6563件(74.46%)です。
問 昨今、全国的にもいわゆる「孤独死」が多数発生していますが、本市において件数を把握できる状況にあるか伺います。

答 保健福祉部長 民生委員による地域の見守り活動や、ケアマネージャーによる高齢者世帯の見守り活動を行っています。また、残念ながら、一人で亡くなられていた事例はあります。

「孤独死」は明確な定義がなく、件数を把握することは困難ですが、身寄りのない方などが亡くなられた場合、「行旅病人及び行旅死亡(人取扱法)」や「墓地埋葬等に関する法律第9条」の取扱いの事例があります。これらの件数は、令和2年度8件、令和3年度4件、令和4年度5件、令和5年度3件(令和5年10月末現在)です。

前年度決算の資産・負債の開示

問 令和4年度決算の貸借対照表の内容開示について伺います。

答 財政課長 総務省から作成を要請されている統一的な基準による財務書類のうち、貸借対照表は、例年9月から年度末の期間に作成しており、令和4年度分の財務書類は現在、作成しているところです。

問 現預金、債権、財政調整基金の

直近3年間の残高および市債(銀行等引受地方債等)の推移を伺います。

答 財政課長 一般会計およびさんむ医療センター公債管理特別会計における推移は、次のとおりです。

① 預貯金 残高推移	② 債権 残高推移	③ 財政調整基金 残高推移	④ 市債 残高推移	⑤ 上記④のうち、金融機関引受分
令和4年度 96億8000万円	令和4年度 85億9000万円	令和4年度 58億4000万円	令和4年度 236億3000万円	令和4年度 39億円
令和3年度 87億8000万円	令和3年度 89億9000万円	令和3年度 57億1000万円	令和3年度 217億6000万円	令和3年度 41億6000万円
令和2年度 80億4000万円	令和2年度 89億9000万円	令和2年度 58億4000万円	令和2年度 203億9000万円	令和2年度 35億4000万円

問 市所有の設備、例えば消防設備である特殊車両などは、市民の税金が原資となつている大事な資産であるため、処分する際は、まずは官公庁オークションなどに出展し、換価することを優先すべきと考えますが、見解を伺います。
答 総務部長 消防ポンプ自動車について、官公庁オークションなどを利用した競売にかけるよう準備していきたいと考えます。

個人質問



新しい風Sammu 池田久和 議員

小松地先市有地の残土問題

問 『汚染残土問題真相を究明する会』という市民団体の新聞折り込み「土砂搬入を行ったのは松下浩明市長が初当選した選挙で応援した業者」との掲載がありますが、これは事実なのか、市長に伺います。

答 市長 選挙では、多くの市民の負託を受け当選させてもらい、市長という重責を担うことになりました。

折り込みチラシの件については承知していますが、疑念を持たれるようなことは一切ございません。

問 記載の内容はまったくの間違いでないと解してよいか伺います。

答 市長 選挙の際には、市内のいろいろな事業者の方に応援していただいたと認識していますが、疑念を持たれるようなことは、一切ございません。

問 前述の新聞折り込みに「この業者に土砂搬入を優先的に依頼したものの」との記載がありますが、これは事実なのか、市長に伺います。

答 市長 今後、搬入業者を含め、第三者委員会において事実関係が明らかになるものと考えます。

搬入された土砂の整地は、随意契約にて対応しており、契約した事業者の選定理由は、土砂の提供の情報があったことと、その時期にその近くの現場で作業をしていたため、そのまま重機を利用できる環境であったことから選定しました。

問 この問題の最終的な解決策をどのように考えるか伺います。

答 市長 第三者委員会において事実関係をしっかりと調査していただき、市民への説明責任を果たすとともに、責任の所在や土砂の搬出方法、そして再発防止の対策等を講じたいと考えています。

教育現場における多文化共生

問 市内小中学校に在籍する外国籍児童生徒の言語の状況を伺います。

答 教育部長 令和5年10月末現在の本市の外国籍児童生徒数は、小学校61名、中学校17名の計78名です。

そのうち、母語のほか英語が話せる人数は60名(77%)、母語しか話せない人数は18名(23%)です。

問 学習するための言語能力習得のため、まずは小学校一年生レベルまでの言語を集中して早期に習得できるようなプレスクール拠点校の設置、または利用可能な施設を支援センターとして設置していく考えはあるか伺います。

答 教育部長 対象児童生徒を一つの学校等に集め、一定期間、集中して日本語の指導や支援を行っている自治体があることを承知しています。

日本語指導教員の確保や配置の課題、保護者の送迎にかかる負担の問題等を考慮し、本市に合った方法を慎重に検討していく必要があると考えます。

問 多国籍児童生徒を支援する職員の増員、特に、本市の外国籍児童生徒の大多数がスリランカ国籍であることを鑑み、シンハラ語やタミル語を話せる職員の採用について、市の見解を伺います。

答 教育部長 現在、シンハラ語またはタミル語が話せる職員を3名採用し、2名は学校に配置し、1名は教育委員会に配置しています。

これらの職員は、外国籍児童生徒への日本語指導だけでなく、学級担任と保護者の仲介者として大きな役割を果たしていることから、シンハラ語またはタミル語に加え、日本語が堪能で、日本の文化に詳しい職員の増員を検討していきます。



新しい風Sammu 小山和典 議員

来年度予算について

問 令和5年第1回定例会において、市長から令和5年度の一般会計当初予算編成について説明があり、その中で「交付税等の大きな増額は見込めず、厳しい財政運営となりますが、これまでと同様、財政健全化と政策推進のバランスを考慮した総合計画成果志向型の編成をした」と述べられました。

交付税の増額が難しいのであれば、「これまでと同様」という言葉ではなく、無駄をなくす、見直す、削るところは徹底して削って、財源を確保し、人口減に歯止めをかけ、定住者が増加して安心して暮らせるまちづくりができると思いますが、市長の考えを伺います。

答 市長 令和6年度の当初予算方針について、本市の財政運営は、物価高騰や労務単価の上昇により、さらに厳しい状況にあると認識しています。

しかし、将来世代に負担の先送りにならない持続可能な財政運営のためには、必要な投資的事業を、必要な時期に実施することが非常に大事であると考えます。

第3次総合計画の目標達成に向けて、今まで以上の視点を持って実施していますが、すべての事業の見直しに着手して、新たな仕組みづくりに取り組み、さらなる経費の削減を図るため、抜本的な行財政運営を進めていきます。

問 公共施設の修繕基準について、市では、山武市個別施設計画を策定していますが、どのような基準で実施しているのか伺います。

答 財政課長 点検等により施設の異常の有無や兆候を把握・予知する「予防保全型」と、不具合等が発生してから直す対症療法的な保全を行う「事後保全型」の2つの方針による施設管理を基本としています。

なお、施設の規模や劣化状況、耐用年数等を勘案し、適用する保全方針を決定しています。

問 修繕を実施する判断基準として、継続や廃止といった今後の方向性を考慮すべきであり、併せて、借地上にある施設は減らしていくべきと考えますが、市の考えを伺います。

答 市長 修繕自体の実施可否だけでなく、将来的にいつまでその施設を使用するのかという視点から判断

し、借地上の公共施設については、借地料も維持管理のコスト削減の観点から、施設の適正配置を踏まえ、廃止等の検討も必要と考えます。

問 市が発注する業務委託について、その必要性や価格は適正であるのか伺います。

答 総務部長 特殊な技術や設備等、高度な知識を必要とする調査・研究など、委託により実施したほうが効率的であるものや、経済性が高いものなど、総合的に判断し、業務委託を行っています。

ふるさとさんむ応援寄附条例

問 本市では、愛犬家等のペット連れの観光客が増えており、そういった方をターゲットに、使途を限定した募集を提案しますが、見解を伺います。

答 総合政策部長 条例に基づき事業目的を留意し、寄附の受け入れを行っていますが、本市の状況や社会情勢に即した運用ができるよう、条例改正を含め、調査研究してまいります。

【その他の質問】 ▼災害用非常食の備蓄数と整備 ▼ふるさと納税寄附金の使途 ▼新病院建設工事の進捗状況およびリハビリテーション科、新生児科の設置 ▼小松地先市有地の土砂問題に要した費用 ▼盛土規制法施行後の規制区域指定



議員 津島美玉 議員 津島美玉

自主防災の地域差について

問 立ち上げを支援している「自主防災組織」の共助効果として、何が期待されるのか伺います。

答 総務部長 1点目は「避難所運営委員会の設立」です。顔見知りの地域住民同士による、きめ細かなサポートが期待できるほか、避難所の統制や防犯、問題点の把握や解決のための行政との連携が図られ、避難生活の質の向上が期待できます。

2点目は「個別避難計画の作成への協力」です。令和7年度までの作成に努力義務化されており、この作成にあたっては、地域の助け合いが不可欠であることから、共助の一環として支援の協力をいただきたいと考えます。

問 地域差を少なくするため、自主防災組織のない地域の「防災力の底上げ」を必要とされているか伺います。

答 総務部長 防災力の底上げは必要と考えており、区長会等の開催時には①災害時避難行動要支援者への災害情報の提供、②安否確認、③避難支援、④在宅避難者への救援物資の配布など、できる範囲での協力をお願いしていますが、区の代表者だけでは実行は難しいため、広報紙や出前講座等を活用し、市民全体へのPR活動も引き続き、行っています。

山武郡市広域行政組合 東消防署の新庁舎建設工事

問 現在、工事の進捗が止まっている理由を伺います。

答 総務部長 工事請負業者から基礎工事(土工事)における追加工事および追加費用の申し出がありました。発注者としては、任意工事であるため追加費用を認めないものと判断し、発注者と施工者間で見解に相違が生じており、いまだ合意に至らず、進捗しない状況となっております。

このことから、当初予定していた令和6年8月の完成は、厳しい状況になりつつあるとのこと。

高齢者ごみ出し支援

問 令和4年第4回定例会において、高齢者のごみ出し支援について質問し、1年が経過しましたが、この間のごみ出しに関する相談件数を伺います。



日本共産党 並木幹男 議員

答 保健福祉部長 地域包括支援センターの記録によると、直近1年間で26件の相談がありました。

問 身内が近くにいないような独居の高齢者に対する介護保険の申請手続きの支援はあるか伺います。

答 保健福祉部長 家事支援を含めた介護保険サービスを利用するには、介護認定が必要となり、認定を受けていない方については、市内3か所の地域包括支援センターにおいて相談を受け、必要に応じて介護認定申請の代行を行っています。

問 他人の世話になりたくないという考えを持つ方の中にも、支援が必要な方はいます。このような高齢者を想定できているのか伺います。

答 保健福祉部長 質問のような考えを持つている高齢者の意思は、尊重しなければならぬと考えます。

一方で、認知症の進行等によりSO Sを発することができず、民生委員や近隣の方から情報提供をいただき、地域包括支援センター職員が訪問するケースも存在します。

いずれの場合も、そのような方を早期発見し、本人の意思を尊重しながら、支援につなげていきたいと考えます。

【その他の質問】▼災害時の帰宅困難者対策▼学校給食センター改築工事期間中の代替給食▼公共施設の複合化・共用化・長寿命化

市の財政状況について

問 令和5年度末の財政調整基金の残高の見込額を伺います。

また、令和6年度当初予算の編成にあたり、どれくらいの繰入れを見込んでいるのか、併せて伺います。

答 財政課長 令和4年度の決算剰余金による積立額3億8000万円に預金利子等運用益を加えた約4億円を、積立額として見込み、繰入れ額については、約12億1566万円を予定しています。

最終的な繰入れ額については、支出の執行状況に応じて、繰入れの時期や金額を決定しているため、現時点での見込みは困難ですが、予算額全額を繰り入れた場合、財政調整基金の年度末残高は約50億2000万円(前年度比約8億1000万円の減)となります。

なお、令和6年度の当初予算編成にあたっては、財政調整基金の繰入れ目

標額を15億円としています。

問 令和4年度末の市債残高は253億2564万円、前年度と比較して17億2632万円(7.3%)増となっておりますが、市債の返済を行いながら今後の財政見通しを伺います。

答 財政課長 長期財政推計においては、年度ごとの公債費を約26億円から27億円程度と見込んでいます。

しかし、物価高騰や労務単価の上昇等の影響や、老朽化施設の改修等に伴う新たな市債の借入れが想定され、公債費負担の増加が見込まれることから、全体的な経費の削減に取り組んでいくべきと考えます。

問 一般会計の市債残高の内訳は、令和4年度では214億7700万円のうち、合併特例債94億8000万円、臨時財政対策債72億5800万円、その他48億1100万円ですが、比率を多く占める合併特例債および臨時財政対策債の違い、また、これらを返済した場合の違いについても伺います。

答 財政課長 合併特例債は、合併した市町村が新しいまちづくりに必要な事業に対する財源として、対象事業費の95%まで借入れが可能な「投資的な事業の特定財源」となります。

臨時財政対策債は、国が地方公共団体に交付する地方交付税の原資が足りない場合に、地方交付税の不足分を補填するために特別に借入れが認められ

た地方債であり、「普通交付税に代わる一般財源」となります。

それぞれの返済にかかる元利償還金は、合併特例債はその70%が、臨時財政対策債はその全額が、後年の普通交付税にて措置されます。

問 今年度の公債費における合併特例債と臨時財政対策債の割合を伺います。

答 財政課長 令和5年度一般会計における市債償還金は、元金分と利子分あわせて約25億4300万円で、そのうち合併特例債は約11億4500万円(45.0%)、臨時財政対策債は約6億9800万円(27.5%)です。

問 学校給食センター改築工事や成東中学校校舎改築工事が今後予定されていますが、そのほかに予定される大きな事業を伺います。

答 財政課長 そのほか、具体的に予定される支出額の大きな事業は、現時点ではありません。

しかし、今後、施設の長寿命化を図るべき予防保全にかかる大規模改修や、施設の適正配置を図るための統廃合等にかかる改築などの事業が見込まれるため、必要な財源の確保に努めていきます。

【その他の質問】▼さんむ医療センターの医療政策▼国民健康保険料水準統一化▼障害者の就労支援▼市の目指す森林とその推進方策

山武市議会活動レポート

■山武市議会議員研修会



令和5年9月15日に、成東文化会館のぎくプラザ視聴覚室において、弁護士の帖佐直美氏を講師に迎え、『議員に求められるコンプライアンス』と題した研修会が開催され、全議員が参加しました。
ディスカッションが取り入れられた講義では、各グループで活発な意見が交わされました。

■議会運営委員会 行政視察



令和5年10月30日から11月1日にかけて、委員および正副議長の7名参加のもと、視察研修を行いました。

【研修地および研修テーマ】

- ・福岡県筑紫野市
「議会改革について」
- ・熊本県菊陽町
「企業誘致の取組について」

■常任委員会 合同行政視察



令和5年11月7日・8日に、委員18名参加のもと、視察研修を行いました。

【研修地および研修テーマ】

- ・茨城県常総市
「アグリサイエンスバレー構想について」
「多文化共生の取組について」
- ・栃木県那珂川町
「子育て支援住宅整備事業について」

■令和6年度当初予算事前協議



令和5年12月13日から15日の3日間にわたり、新年度当初予算(案)について、常任委員会ごとに執行部から主な事業・新規事業・拡充事業を中心に説明を受け、各委員から質疑を行いました。

また、予算を編成するうえでの要望も併せて行い、執行部において検討いただくこととなりました。

市議会の活動を知るには？



議会日程を知りたい！

市議会ホームページには、日程のほか、過去の議決結果等を掲載しています。
 または、議会事務局(☎ 0475-80-1235)にお問い合わせください。

会議を傍聴する！

市議会活動に触れる最も身近な方法であり、議員の活動や市政の方針などを傍聴できます。
 傍聴にお越しになれない場合でも、本会議の様子は、お持ちのパソコンやスマートフォンなどで、インターネットライブや録画中継を見ることができます。



過去の会議内容を知りたい！

市議会ホームページから、会議録検索システムをご利用ください。
 また、議会事務局や市内図書館においても、会議録を閲覧できます。

会議録検索システム



議会だよりを読む！

議会だよりは、議会の活動状況を広くお知らせするため、定例会ごとに発行しています。
 令和3年5月発行分からは、市内全世帯へ戸別配布(ポスティング)しているほか、パソコンやスマートフォンでも読むことができます。

議会だより



令和6年能登半島地震へのお見舞い

石川県能登地方を震源とする大規模な地震により、犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます。

本市議会としましては、復興支援の一助となるよう、議員全員からの義援金(18万円)を石川県へ送金いたしました。

今なお、予断を許さない状況が続いていますが、皆さまの安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

山武市議会一同

※この日程は予定であり、今後変更する可能性があります。

2 / 20 (火)	開会
議案の上程	
提案理由の説明等	
2 / 28 (水)	一般質問
2 / 29 (木)	一般質問
3 / 1 (金)	一般質問 議案質疑
3 / 4 (月)	委員会付託
3 / 5 (火)	総務常任委員会
3 / 6 (水)	文教厚生常任委員会
3 / 11 (月)	経済建設常任委員会
3 / 12 (火)	予算審査特別委員会
3 / 18 (月)	予算審査特別委員会
	委員長報告
	質疑・討論・採決
	閉会

令和6年

第1回定例会

編集後記

今年の元日に発生しました能登半島地震により、被害を受けた方々に、心からの哀悼とお見舞いを申し上げます。

さて、まもなく立春を迎え、暦の上では春の訪れを待つ今日この頃、受験シーズンも到来しようとしています。受験生本人はもちろん、ご家族も不安なお気持ちで日々お過ごしのことでしょう。

そうした中、昨年、日本中を熱気と感動で包み込んだ野球のWBC開催から、はや一年が経とうとしています。代表選手達の一挙手一投足に勇気をもたらす、一戦一戦諦めないことの大切さを教えてもらいました。受験生の皆さんも、最後まで自分の力を信じて、持てる力を存分に発揮していただければ、心からお祈りしています。

議会だより編集委員会

委員長 玉置美津恵
 副委員長 鈴木健太郎
 委員 市川 陽子
 渡邊 健一
 渡邊 聡
 池田 久和



※次回は、5月発行予定です。